

## 平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			漁港施設機能強化事業	H24 ～ H33	主要漁港の鮮度保持施設に製氷機の整備を行い、漁獲単価の向上を図る団体へ支援を行う。	鮮度保持施設(1基)の導入に対する補助	漁獲単価646円/kg以上	【今後のスケジュール】 製氷機の整備を行い、漁獲単価の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を推進するため、優良遺伝繁殖雌牛の導入を行う団体へ支援を行う。	優良繁殖雌牛導入(80頭)に対する補助	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:110%以上	【今後のスケジュール】 H33までの導入頭数(累計):510頭	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			モズク加工工場機能強化事業	H24 ～ H33	モズク生産者の所得を向上させ、経営安定化を図るため、モズク加工場の塩蔵加工設備を整備する団体へ支援を行う。	塩蔵加工設備(一式)の増設整備に対する補助	モズク加工場の塩蔵加工設備の整備完了	【H31成果目標】 久米島町のモズク生産者一人当たりの養殖本モズク(時期物)生産による所得820万円	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ H33	久米島紬に係る商品の売上増加に繋げるため、販売会や問屋呉服店への販促訪問等を行う団体へ支援を行う。	・県内・外での展示会参加数 8回 ・男性用着尺の試作品製作 6反	・反物売上額 6,355万円以上 ・小物売上額 1,489万円以上	【今後のスケジュール】 久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ H33	島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。また、島の特産品パンフレットを作成し、物産展で配布する。	・県内外での物産展開催・参加 8回 ・特産品パンフレット製作(中国・韓国語表示) 10,000部	・物産展における販売額 2,844万円	【今後のスケジュール】 島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ H33	児童生徒に早い段階から「働くこと」への意識づけを行い、将来の夢や目標に向けた就業意識向上を図り、地域に貢献できる人材の育成を目指す。	ジョブシャドウイングの実施 中学生職場体験実施・支援 久米島高校との連携(インターソップ・職業人講話・合同企業説明会等) 職業体験型イベント「わくわくワーク」の開催 「リーダー育成プログラム」 小中学校教員向け研修会 協議会の開催	参加した児童生徒へのアンケート 就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 若年層の就業意識の向上。地域に貢献できる人材の育成。 地域に愛着を持ち、島でも魅力ある仕事に就けるという個々の意識改革に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	久米島観光誘客支援事業	H24 ~ H33	久米島の魅力を活かした広報活動や、各種イベントを実施し、観光客の誘客を図る。	・久米島空港観光案内業務 ・久米島広報推進業務 ・久米島ハワイアンフェスティバル ・久米島のんびりウォーク	入域観光客数 123,000人以上 イベント参加人数(島外)394人以上	【今後のスケジュール】 効果的な広報活動、イベント実施につなげ、さらなる観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	久米島観光プロモーション事業	H25 ~ H33	WEB及びマスメディアを活用した観光プロモーションを実施し、久米島の認知度の向上及び観光客の誘客を図る。	久米島の観光の魅力を各種メディア媒体で情報発信する。2社実施。	入域観光客数:123,000人以上	【今後のスケジュール】 ・国内大手のWEB旅行会社にて久米島の旬な観光情報を発信する。併せてマスメディア(テレビ放映)による情報発信を行う。情報の拡散効果を図るためSNSも活用する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ~ H30	久米島の自然環境、歴史文化、産業などの地域資源と人を活かした体験型・交流型観光を推進することで、修学旅行の誘致と観光誘客を図る。	民泊事業の受入整備、強化 修学旅行の誘致 体験プログラムの構築	・民泊事業者数:38戸以上 ・修学旅行の受入学校数:11校以上 ・体験プログラム利用者数:1,823人以上	【今後のスケジュール】 ・修学旅行実施校の増加と観光入域数の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	久米島町観光振興基本計画策定事業	H30	観光産業の現況及び今後の動向を踏まえ、実効性のある具体的施策を掲げた「新たな戦略と指標」となる「第2次久米島町観光振興基本計画」を策定し観光誘客を図る。	・久米島町観光振興基本計画に係る調査事業及び計画策定	・久米島町観光振興基本計画の策定	【H31成果目標】 本事業で策定する基本計画を基に、観光振興を目的とした事業の実施につなげる。  【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画に基づく事業の実施後(平成31年度以降)の入域観光客数の増加を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 本事業で策定する基本計画に基づき観光振興事業を検討し、事業実施につなげることを成果目標として設定した。	
3	航空路線拡充対策事業	H26 ~ H33	給油施設のない久米島空港でのチャーター便の給油及び燃料輸送等に係る費用を負担することで、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、離島航空路線のプログラムチャーター化及び定期便化を促す。	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う。 新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う。	・チャーター便就航数:40便	【今後のスケジュール】 定期便化につながるチャーター便就航数の増加を目標として展開する。	【H30成果目標設定の考え方】 数値は過去の実績に基づき設定した。	
3	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ~ H33	割高な航空運賃を低減し、航空事業者に対しその差額を負担する。入域者数の増加による地域の活性化を図る。	航空会社が実施する交流人口の航空運賃割引に対して補助を行う。  交流人口とは、島民以外の人で久米島町を訪れる人のことをいい、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等を含む。	久米島町の入域者数:123,000人	【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ H31	災害時は、住民、観光客及び災害時要援護者等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。	建築実施設計 用地造成実施設計	・拠点施設の実施設計の完了	【H32成果目標】 (災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。  (平常時) ・施設の年間利用者数 延べ3,800人以上(図書館のみの利用は除く) ・図書館の年間貸出冊数44,300点以上  【今後のスケジュール】 H31年度:建築工事 工事施工監理 備品購入費 H32年度:供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 (災害時) 当該施設を活用した避難訓練を実施し、アンケート調査等で検証することで、災害時の安全確保が図られているかを確認できるものであり、成果目標として設定した。 数値については、大多数にとって安全が確保されたと考えられる数値として80%以上を設定した。  (平常時) 過去の実績を参考にして設定した。	
4	子育て支援事業	H28 ～ H33	町民や観光客等の利便性の確保を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れの観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。	・測量設計 ・実施設計	・実施設計書の作成完了	【H33成果目標】 当該施設の整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。  【今後のスケジュール】 H31年度:公園整備工事実施・完了 H32年度:供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 利用者の大多数にとって利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	久米島霊園整備事業	H30 ～ H32	墓地の散在化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	・基本計画策定	「久米島霊園整備基本計画」の策定完了	【H33成果目標】 霊園施設利用世帯:16世帯以上  【今後のスケジュール】 H31:基本設計・実施設計 H32:建築・造成工事・備品購入 H33:供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24 ～ H30	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場関連施設の整備を実施する。	・実施設計 ・機能強化工事	プロ野球キャンプ実施件数 1件 スポーツ合宿招致件数 6件	【今後のスケジュール】 施設等の充実・強化を図り、安心安全で快適な観光地としての施設整備を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等
6	文化遺産保存活用事業	H24 ~ H33	町内における歴史資料の修復を行い、企画展等を開催し周知することで、歴史の継承を図るため、町内に残されている歴史資料の修復等を行う。	古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・修復した資料を活用した企画展の来場者数 400人以上	【今後のスケジュール】 文化財の適切な保護を図るとともに博物館利用者の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 数値は過去の実績を勘案して設定した。	
6	久米島現代版組踊り創作事業	H24 ~ H33	沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊」をベースに、民俗芸能の要素を取り入れた現代版組踊りを島の中高校生が演じることで、歴史・文化の継承を図る。	中高生が古典芸能「組踊」をベースに、民俗芸能の要素を取り入れたミュージカル的な現代版組踊りの公演を実施、並びにイベント出演をする。 H30年度は、中学生による現代版組踊り公演の実施、自主公演に向けた指導者の育成を行う。	・参加者(演者)及び来場者へのアンケートで、歴史・文化に対して理解が深まった(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・活動を運営する組織を作り、公演等の活動を継続する。 ・地域づくりへの参画による町おこしと、魅力ある文化観光資源の創出により、地域活性化につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が理解が深まったと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	英語指導員配置事業	H24 ~ H33	小学校期からの長期的な英語指導によって国際性とコミュニケーション能力の育成を図る。外国語活動及び国際理解教育により英語への興味・関心を高めるために、英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3~4年生:120時間、5~6年生:210時間)で実施する。	・英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ~ H33	学習支援員を配置し、学習未定着の児童にきめ細やかな学習支援を行うことで、学力の向上を図る。担任と支援員(TT式授業)の二人体制で授業を行い、落ち込みのある児童に対してきめ細やかな支援を行う。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ3人配置 対象:小学校3年生~6年生の国語・算数	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差:県平均以上とする	【今後のスケジュール】 高校・大学へと進学し久米島を担う人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	授業についていけない児童生徒(発達障害など学習面や生活面での特別な教育的補助を必要とする児童)への個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等を教師と連携して行う支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置 小学校11人・中学校4人	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が満足していると考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ H33	島外で開催される各種大会への派遣旅費を支援し、児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図る。島外の生徒との競争や交流の機会を増やすことで広い視野を持たせる。	小中学校の課外学習で久米島町外開催の各種大会等へ参加する際の渡航費用等への補助金支給	・派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	ICTを活用した家庭学習支援事業	H29 ～ H30	小中学生を対象に家庭学習環境の充実を図るため、ICTを活用したオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備し、学力の向上を図る。	ICTを活用した町営学習塾の開設	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本町との平均点の差を以下のとおりとする。 小学校：-35.0点以内 中学校：-33.0点以内	【今後のスケジュール】 本事業により家庭学習環境が整えられることで、自ら学び、自ら解決する等の問題解決能力の育成が図られるとともに、島外講師との交流により町の将来を担う社会性豊かな人材の育成につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。